

# 第1部 2006年度決算概要及び 2007年度業績予想

副社長 木下幸雄

## ポイント

- ・ 4期連続増収
- ・ 営業利益、経常利益、当期純利益で過去最高を更新
- ・ 受注高、当期純利益で4期連続過去最高を更新

## 業績数値

- ・ 受注高 7,053億円 (予想6,600億円)
- ・ 売上高 6,003億円 (予想5,950億円)
- ・ 営業利益 642億円 (予想600億円)
- ・ 経常利益 653億円 (予想600億円)
- ・ 当期純利益 374億円 (予想330億円)
- ・ 有利子負債残高 880億円
- ・ ROIC (税引後) 12.2% (予想11.0%)

単位: 億円

**受注高**  
 建機・機械・船舶鉄構が好調

**売上高**  
 建機・機械で大幅に増加

**営業利益**  
 建機・機械・船舶鉄構大幅に増加

**経常利益**  
 支払利息減

**特別損益**  
 事業再編関連損失等発生

	2006年度	2005年度	差異
受注高	7,053	6,030	1,024
売上高	6,003	5,513	490
営業利益	642	475	167
営業利益率	10.7%	8.6%	2.1%
経常利益	653	476	178
経常利益率	10.9%	8.6%	2.3%
特別損益	24	15	9
当期純利益	374	297	76
当期純利益率	6.2%	5.4%	0.8%
ROIC (税引後)	12.2%	8.8%	3.4%

単位:億円

**標準・量産機械**  
 プラスチックが減少したが、変減速機は前期比好転、精密その他は前年並み。

**環境・プラントその他**  
 ほぼ前期並み。

**船舶鉄構・機器**  
 新造船のコストダウン進捗。鉄構・機器も好調。

**機械**  
 搬送システム、タービン、ポンプ、鍛造プレスが好調。

**建設機械**  
 米国クレーン子会社好調。ショベルも国内・海外ともに好調。

	2006年度	2005年度	増減
標準・量産機械	288	300	12
環境・プラントその他	45	41	3
船舶鉄構・機器	67	10	77
機械	95	58	37
建設機械	144	85	59
合計	642	475	167

# 連結貸借対照表

1-4

単位: 億円

	2007/3末	2006/3末	増減		2007/3末	2006/3末	増減
<b>流動資産</b>	3,325	3,178	147	<b>負債</b>	3,949	4,077	129
現預金	482	439	42	買掛債務	1,509	1,428	81
売上債権	1,584	1,589	5	前受金	405	320	85
たな卸資産	1,005	930	75	有利子負債	880	1,255	375
その他	255	220	34	その他	1,155	1,075	80
				少数株主持分	-	38	-
<b>固定資産</b>	2,684	2,614	70	<b>資本</b>	-	1,677	-
有形固定資産	1,851	1,815	37	資本金	-	309	-
無形固定資産	63	48	15	資本剰余金	-	168	-
投資その他の資産	770	752	18	利益剰余金	-	688	-
				土地再評価差額金	-	421	-
				その他	-	91	-
				<b>純資産</b>	2,060	-	-
				株主資本	1,553	-	-
				評価・換算差額等	493	-	-
				少数株主持分	13	-	-
<b>合計</b>	<b>6,009</b>	<b>5,792</b>	<b>217</b>	<b>合計</b>	<b>6,009</b>	<b>5,792</b>	<b>217</b>
				有利子負債比率	14.7%	21.7%	7.0%
				自己資本比率	34.1%	29.0%	5.1%

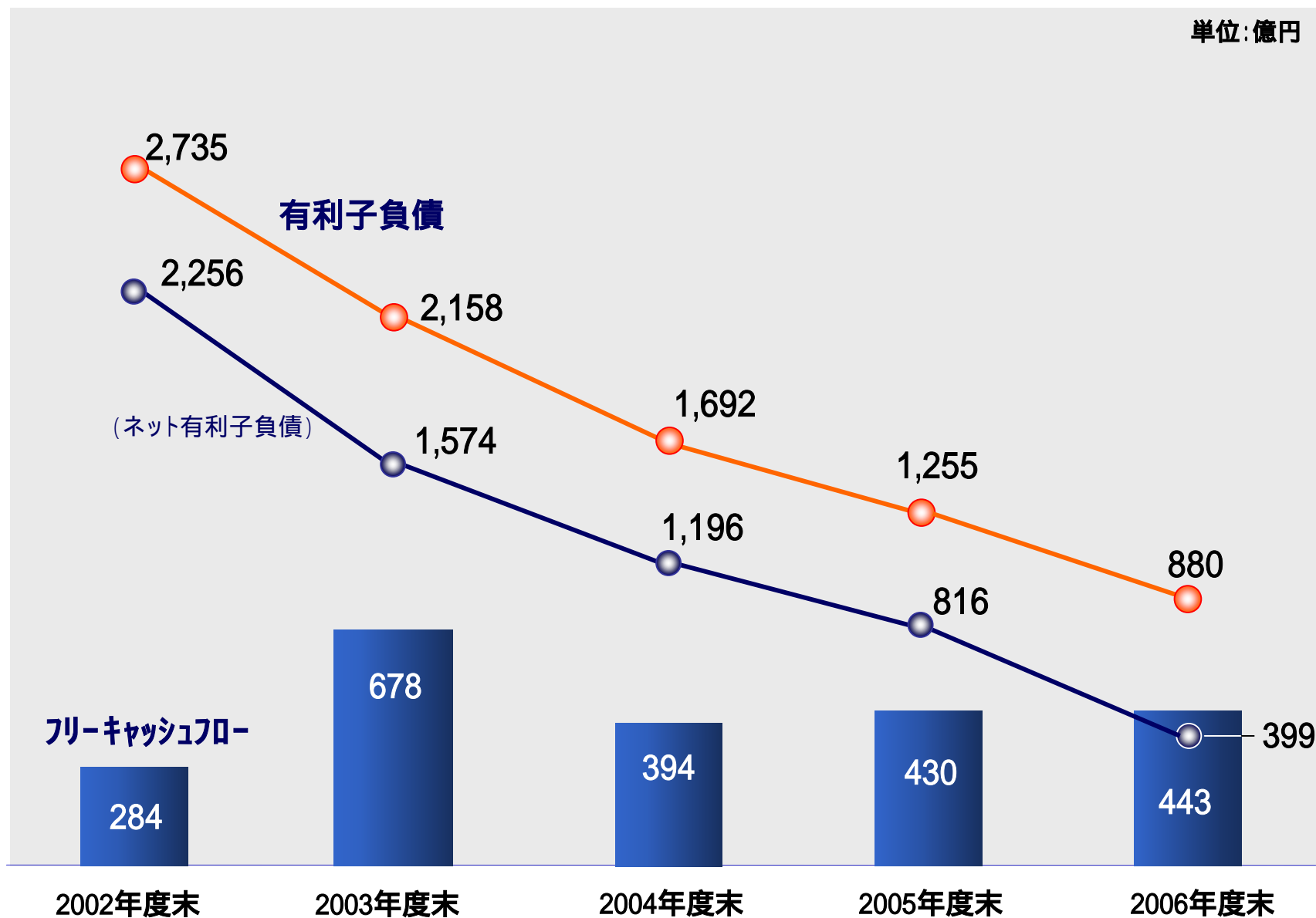
# 連結キャッシュフロー計算書

1-5

単位:億円

区分	2006年度	2005年度	増減
<b>営業活動</b>	568	500	68
運転資本	103	79	24
利払い前事業収益	725	539	185
その他	260	118	141
<b>投資活動</b>	125	70	54
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	<b>443</b>	<b>430</b>	13
<b>財務活動</b>	412	488	76
<b>現金・現金同等物増減</b>	34	55	89
現金・現金同等物期末残高	475	436	39

# 有利子負債推移



# 2006年度業績および2007年度予想

1-7

単位: 億円

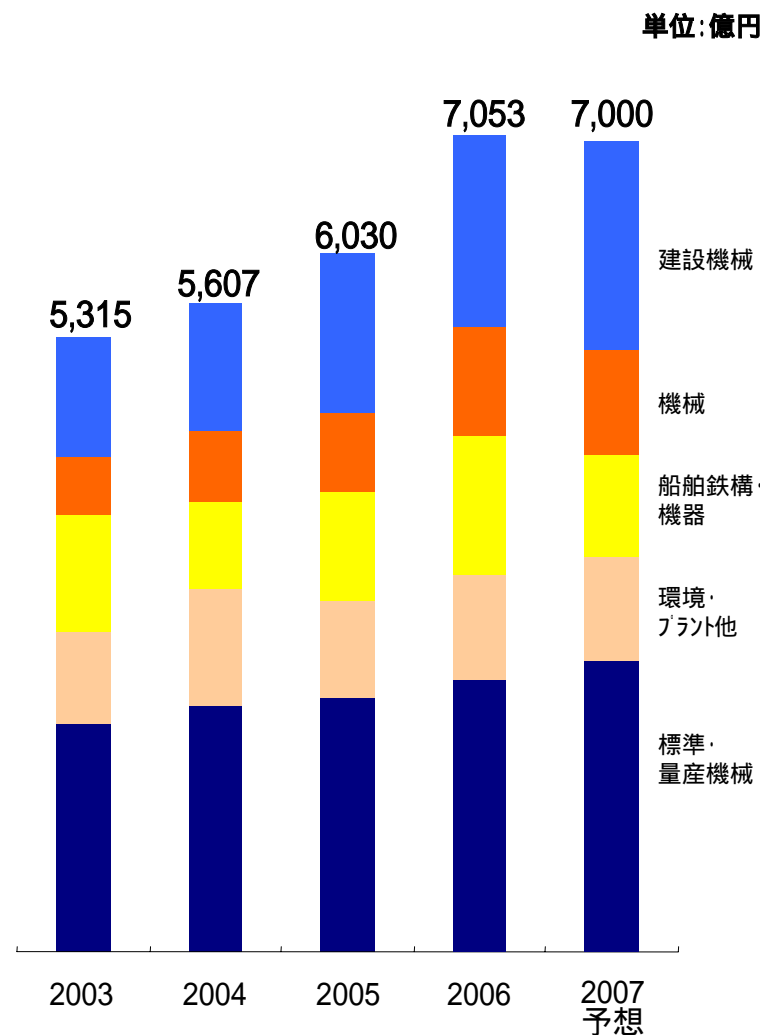
	2007上期 予想	2006上期 実績	2007年度 予想	2006年度 実績
受注高	3,300	3,224	7,000	7,053
売上高	3,000	2,734	6,500	6,003
営業利益	300	268	740	642
営業利益率	10.0%	9.8%	11.4%	10.7%
経常利益	290	277	730	653
経常利益率	9.7%	10.1%	11.2%	10.9%
特別損益	10	16	20	24
当期純利益	170	167	430	374
当期純利益率	5.7%	6.1%	6.6%	6.2%
配当	5円	3.5円	10円	7円
ROIC (税引後)			13.1%	12.2%
織込レート(ドル)			上期 115円 下期 110円	110円



# 2007年度セグメント別受注高予想

単位:億円

	2003	2004	2005	2006	2007 予想
標準・ 量産機械	1,956	2,131	2,191	2,347	2,500
環境・プラント その他	804	1,003	836	900	920
船舶鉄構・ 機器	1,016	757	952	1,210	880
機械	497	600	687	936	900
建設機械	1,042	1,115	1,364	1,661	1,800
合計	5,315	5,607	6,030	7,053	7,000



# 2007年度セグメント別売上高、営業利益予想

1-9

					単位: 億円		
		2007上期 予想	2006上期 実績	増減	2007年度 予想	2006年度 実績	増減
標準・量産 機械	売上高	1,100	1,074	26	2,340	2,229	111
	営業利益	120	140	20	310	288	22
	営業利益率	10.9%	13.0%	2.1%	13.2%	12.9%	0.3%
環境・プラント その他	売上高	350	316	34	860	794	66
	営業利益	10	1	11	50	45	5
	営業利益率	2.9%	0.3%	3.2%	5.8%	5.6%	0.2%
船舶鉄構・ 機器	売上高	300	293	7	740	695	45
	営業利益	40	23	17	95	67	28
	営業利益率	13.3%	7.8%	5.5%	12.8%	9.7%	3.1%
機械	売上高	375	289	86	780	683	97
	営業利益	55	38	17	120	95	25
	営業利益率	14.7%	13.1%	1.6%	15.4%	14.0%	1.4%
建設機械	売上高	875	762	113	1,780	1,602	178
	営業利益	75	66	9	165	144	21
	営業利益率	8.6%	8.7%	0.1%	9.3%	9.0%	0.3%
合計	売上高	3,000	2,734	266	6,500	6,003	497
	営業利益	300	268	32	740	642	98
	営業利益率	10.0%	9.8%	0.2%	11.4%	10.7%	0.7%

# 第2部 経営戦略

...中期経営計画の進捗

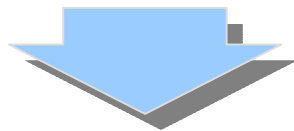
社長 中村 吉伸

## 「成長・拡大のトップライングロース」へ

### 中期目標

- 一流商品を提供する「組織的知識創造企業」への脱皮  
～ 躍進商品の市場投入
- 垂直統合型事業モデル ～ PTC、メカトロの融合
- キーコンポーネント事業の拡大・強化

● 数値 (2007年度末)	
ROIC	10% 以上
営業利益	600 億円 以上
有利子負債	1,500 億円 以下



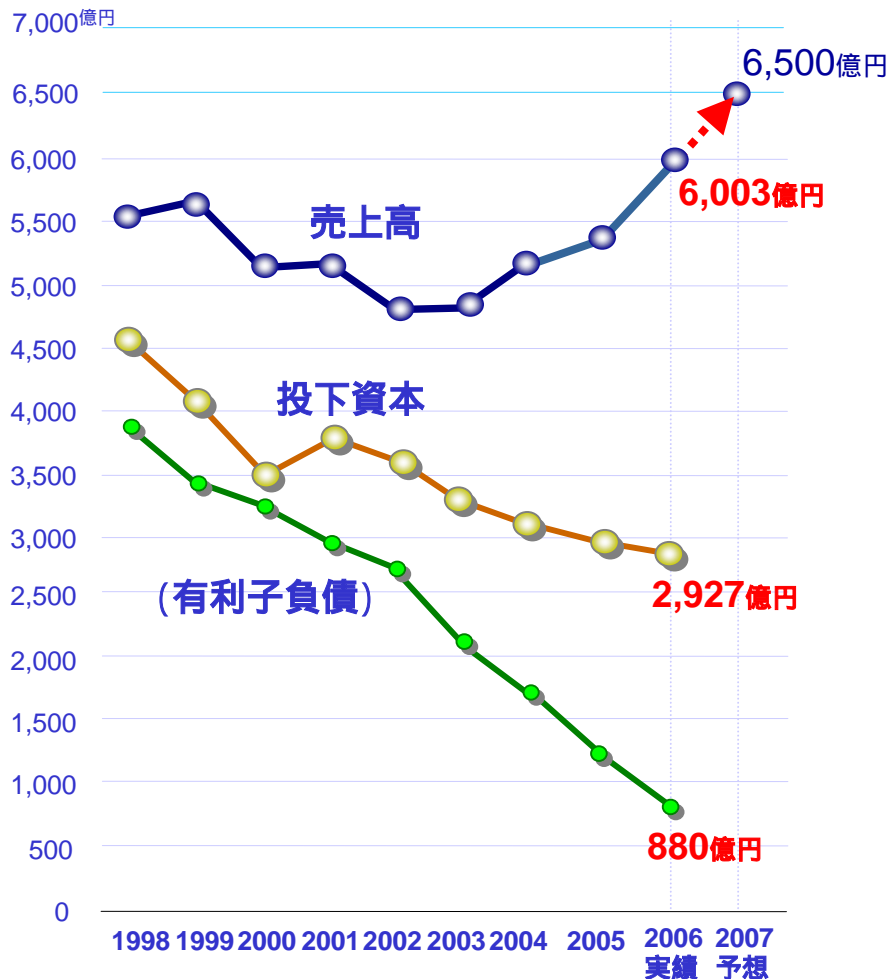
### 06年度 結果

ROIC、営業利益、有利子負債とも、1年前倒しで達成

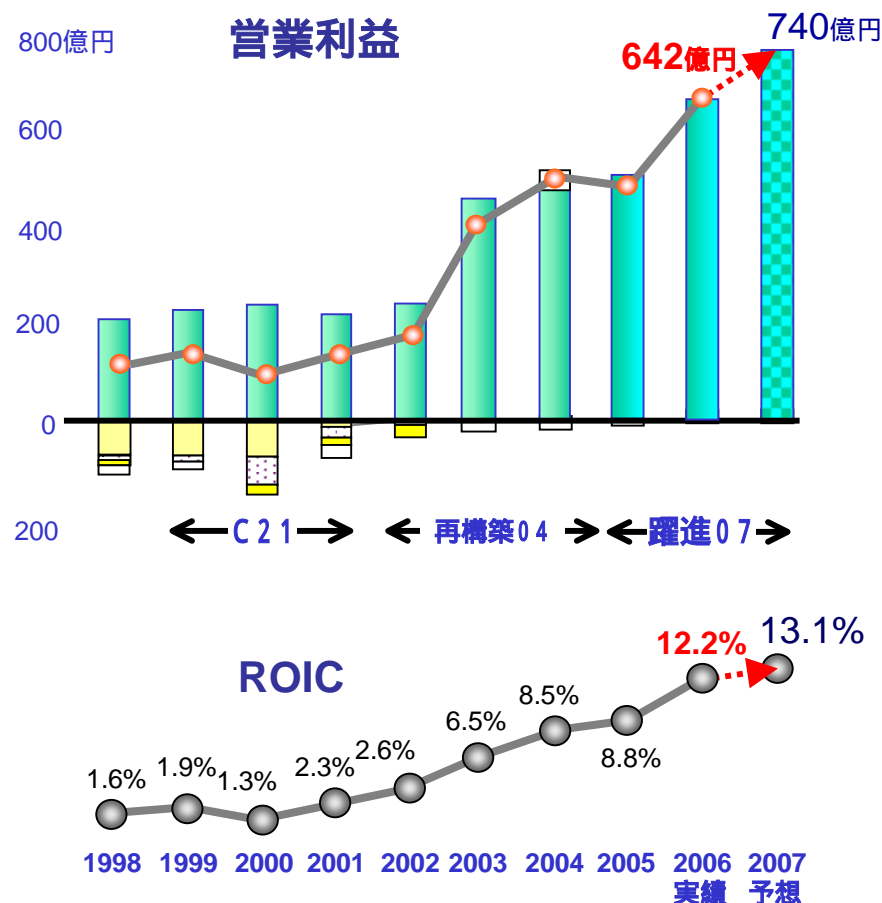
ROIC	12.2%
営業利益	642 億円
有利子負債	880 億円

07年度は、売上高 6500億円、営業利益 740億円を目指す

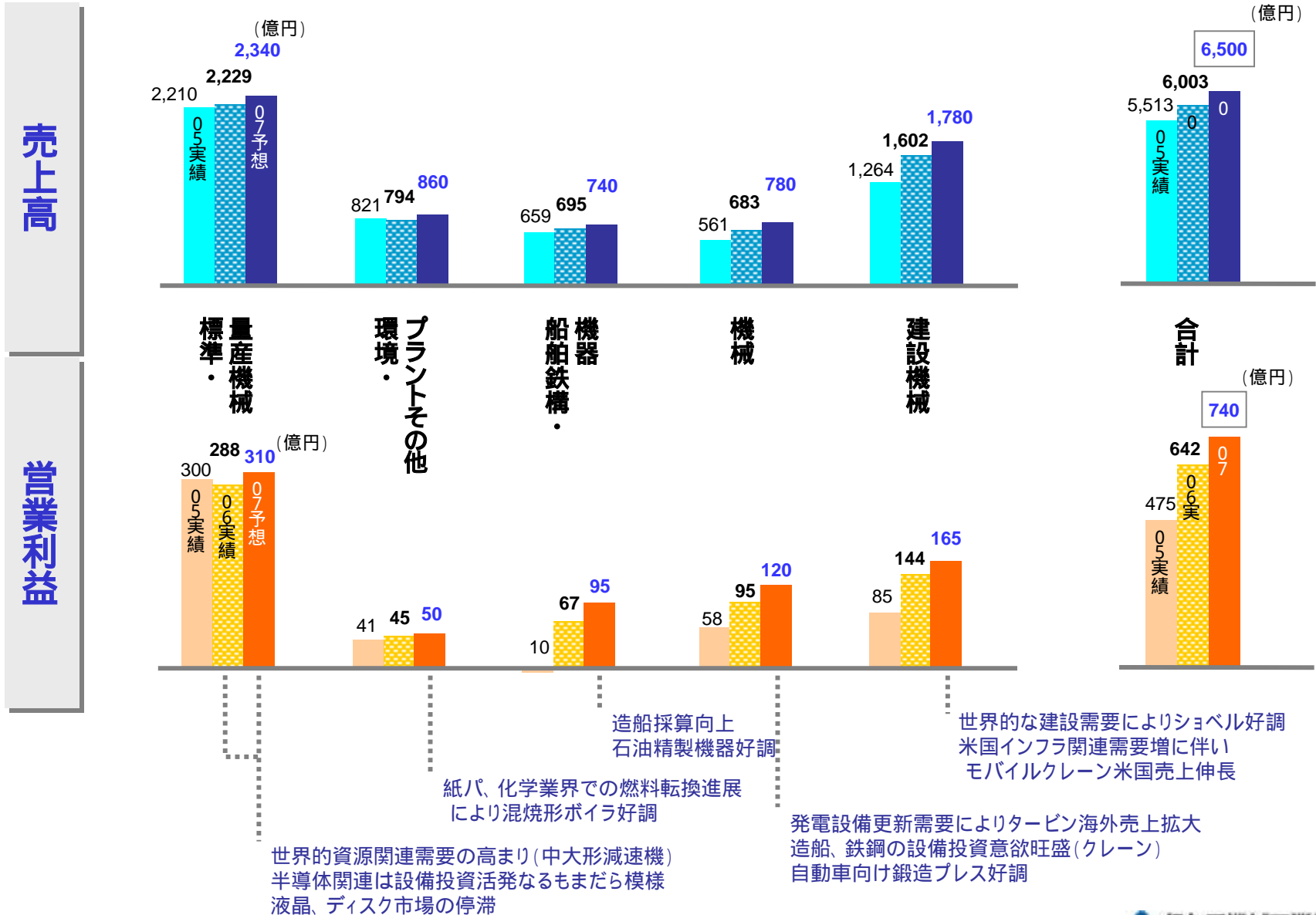
## 売上高・投下資本



## 営業利益・ROIC



## 機械、船舶鉄構・機器の産業インフラ好調で利益率大幅改善



## 06年～成長に向けた投資の拡大

### ● 「躍進商品」作りの推進

- ・開発段階から市場投入段階へ進展

### ● 「桁違い品質」と「極限のものづくり」の実現

- ・6シグマによる品質レベルアップ活動
- ・トヨタ生産方式活動による生産革新

### ● 垂直統合型事業モデルの深化

- ・組織横断的な開発
  - ～ 装置事業とコンポーネント事業の連鎖
- ・モーション・コントロール・ドライブ ビジネスユニット  
(変減速機 + 精密制御技術)の事業推進

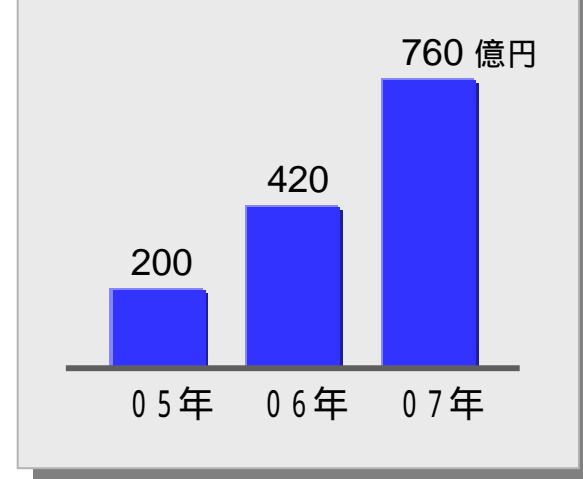
### ● 海外事業・連携の強化

- ・グローバル生産ネットワーク
  - ～ 日本、欧州、北米、中国、東南アジア各拠点の生産能力強化と連鎖

### ● 成長事業への重点投資

- ・生産能力増強への設備投資

「躍進商品」の売上高推移



# 07年度に向けた各セグメント施策

セグメント	06年実績		市況見通し	施策	07年予想	
	売上高	営業利益			売上高	営業利益
標準・量産機械 / PTC	911億円	288億円		・中国、欧米市場拡販 ・精密減速機商品力強化	950億円	310億円
標準・量産機械 / プチ機	552億円			・汎用成形機のシェアアップ ・自動車、事務機向け中型機拡販	570億円	
標準・量産機械 / 精密ほか	766億円			・PETアジア展開 ・クライオポンプ事業拡大 ・メカトロコンポーネント事業拡大	820億円	
<b>標準・量産機械 小計</b>	2,229億円				2,340億円	
環境・プラントその他	794億円	45億円		・新エネルギー対応アジア拡販 ・プロジェクトマネジメント力強化	860億円	50億円
船舶鉄構・機器	695億円	67億円		・資材費管理強化 ・標準船連続建造によるコストダウン ・反応容器製造能力増強	740億円	95億円
機械	683億円	95億円		・クレーン：造船、高炉メカ深耕 ・小型タービン：グローバル展開 ・鍛造プレス：自動車分野拡大	780億円	120億円
建設機械	1,602億円	144億円		・第3次排ガス対応機拡販展開 ・中国、アジア市場拡販 ・モバイルクレーン品揃え拡販	1,780億円	165億円
<b>合計</b>	6,003億円	642億円			<b>合計</b> 6,500億円	740億円



## 中大形減速機 受注好調



セイサ 大形減速機



ギヤボックス

## 中大形減速機が好調

- 世界的な資源関連需要の高まりを背景に中大形減速機が好調
- 変減速機事業の一層の商品競争力強化、高収益事業化へ

## MCD事業展開 ~ 精密減速機拡販

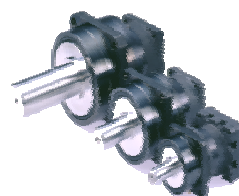
### 躍進商品



精密制御用サイクロ減速機



サーボ・ドライバ



精密遊星歯車減速機



エア・アクチュエータ



リニア・モータ



## 精密減速機商品力強化による モーション・コントロール・ドライブ(MCD) 事業展開

- ロボット用減速機商品力強化
- 精密制御技術との融合推進

## 射出成形機 シェアアップ

躍進商品

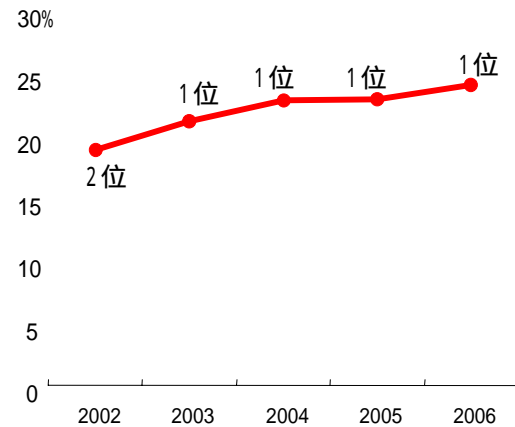


自動車業界向け  
SE-HDシリーズ



IT業界向け  
SE-HPシリーズ

射出成形機シェア推移



射出成形機国内メーカーシェア 06年度24%に向上、1位継続

- 自動車業界向けでシェア伸長
- 新製品(IT業界向け超高速射出成形機)の市場投入

## PET用サイクロトロン、海外で需要拡大

躍進商品



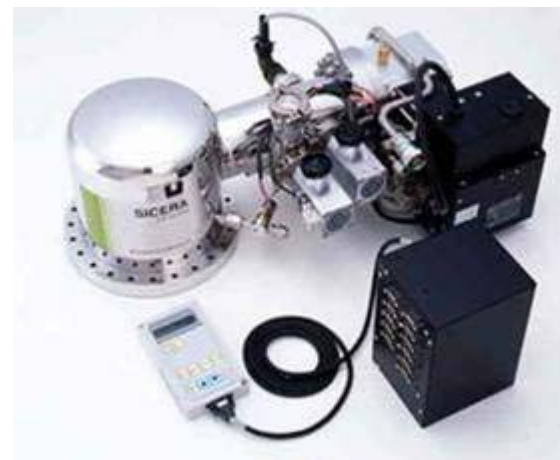
CYPRIS HM-7

## 中国、台湾、韓国に続き、インド、アセアンでも営業開始

- 受注台数の3割強が海外
- 中国市場は引き続き成長
- 国内No.1からアジア市場での展開に挑戦

## 半導体製造関連分野で事業拡大へ

躍進商品



クライオポンプ「SICERA」

## クライオポンプで事業拡大フェーズへ

- 冷凍機をコアとしたシステム商品  
(クライオポンプ)でボリュームゾーンを攻略
- 次世代半導体製造装置向けクライオポンプ  
(SICERA)の市場投入

## 新エネルギー対応CFBボイラ需要拡大



### 石炭から新エネルギーへの燃料転換 ニーズに対応し、需要拡大

- バイオマスなど転換燃料との混焼の容易さや、燃料改質・灰処理など高度化技術で差別化
- 500億円規模へ事業拡大

## 標準船に特化して連続建造



## 反応容器 受注好調



### 生産効率化による量の拡大対応

- 海運市況(タンカー)は好調を維持。新基準適用(塗装他)の駆込み受注を含め好調維持
- 06年度13隻の受注確保

### 石油精製市場の堅調な伸び

- 原油需要逼迫に伴う重質油熱分解プラントの需要増
- 大形化、効率化を狙った新增設

## 大形クレーン受注好調



## 造船・高炉セグメントで受注好調

- ▶ 大形ゴライアスクレーン、ジブクレーンは国内シェアトップ。造船・鉄鋼メーカを中心に引き続き受注好調
- ▶ 連続アンローダが鉄鋼メーカ向けに受注好調

## 産業用蒸気タービン分野のグローバル展開

### 躍進商品



## バイオマス利用発電の需要増により産業用多段タービンの受注好調

- ▶ 高信頼性・最適操業を提案
- ▶ 米国の高付加価値市場(発電市場)をターゲットにさらなる海外展開へ

「よくできたショベルだ」 LEGEST販売開始

躍進商品



LEGEST

モバイルクレーン、北米市場好調



モバイルクレーン

## 第三次排ガス規制対応機の市場投入

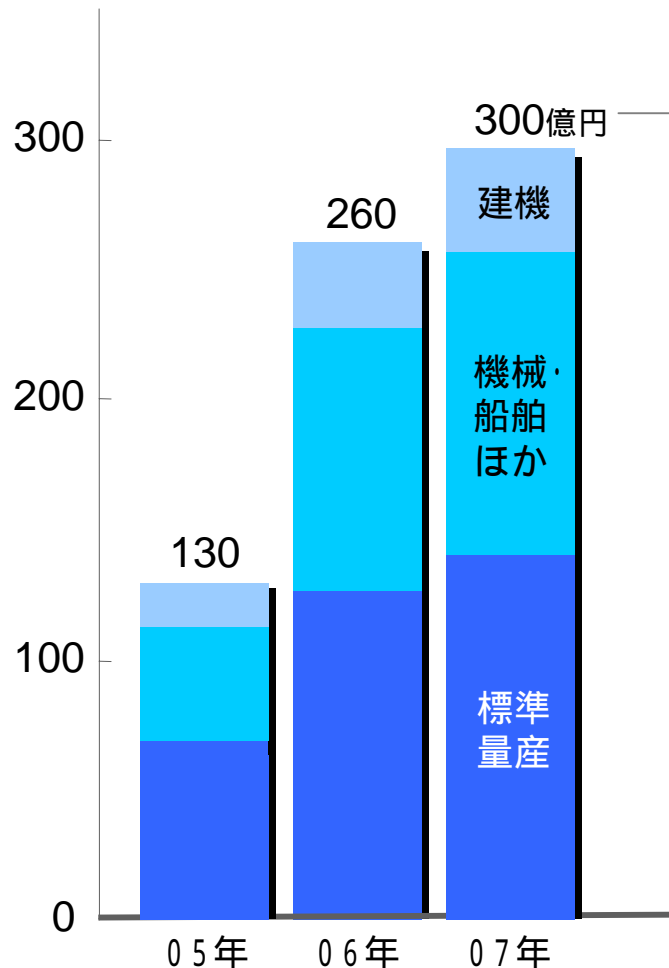
- 優れた耐久性と低燃費(20%削減)を実現
- メンテナンスコスト・時間を低減
- 卓越した運動性能

## 更なる機種戦略強化とグローバル展開

- 供給量拡大、新機種投入でグローバルサプライチェーン強化
- グローバルマーケティング推進

# 積極的な設備投資による量の拡大

強いキャッシュフローを積極的に設備投資に振り向ける  
生産力増強により量の拡大とコストダウン、品質改善に取り組む



\* 数値は全て決定ベース、財務数値とは異なる

## 設備投資

- 標準量産
  - ・PTC: 加工生産能力アップ
  - ・プチ機: サプライチェーン強化整備
- 機械・船舶ほか
  - ・船舶: 加工生産能力アップ
  - ・反応容器: 生産能力アップ
  - ・クレーン: 生産能力アップ
- 建機
  - ・ショベル: 1万2,000台体制整備
  - ・モバイルクレーン: 生産能力アップ



# 次期中期経営計画について

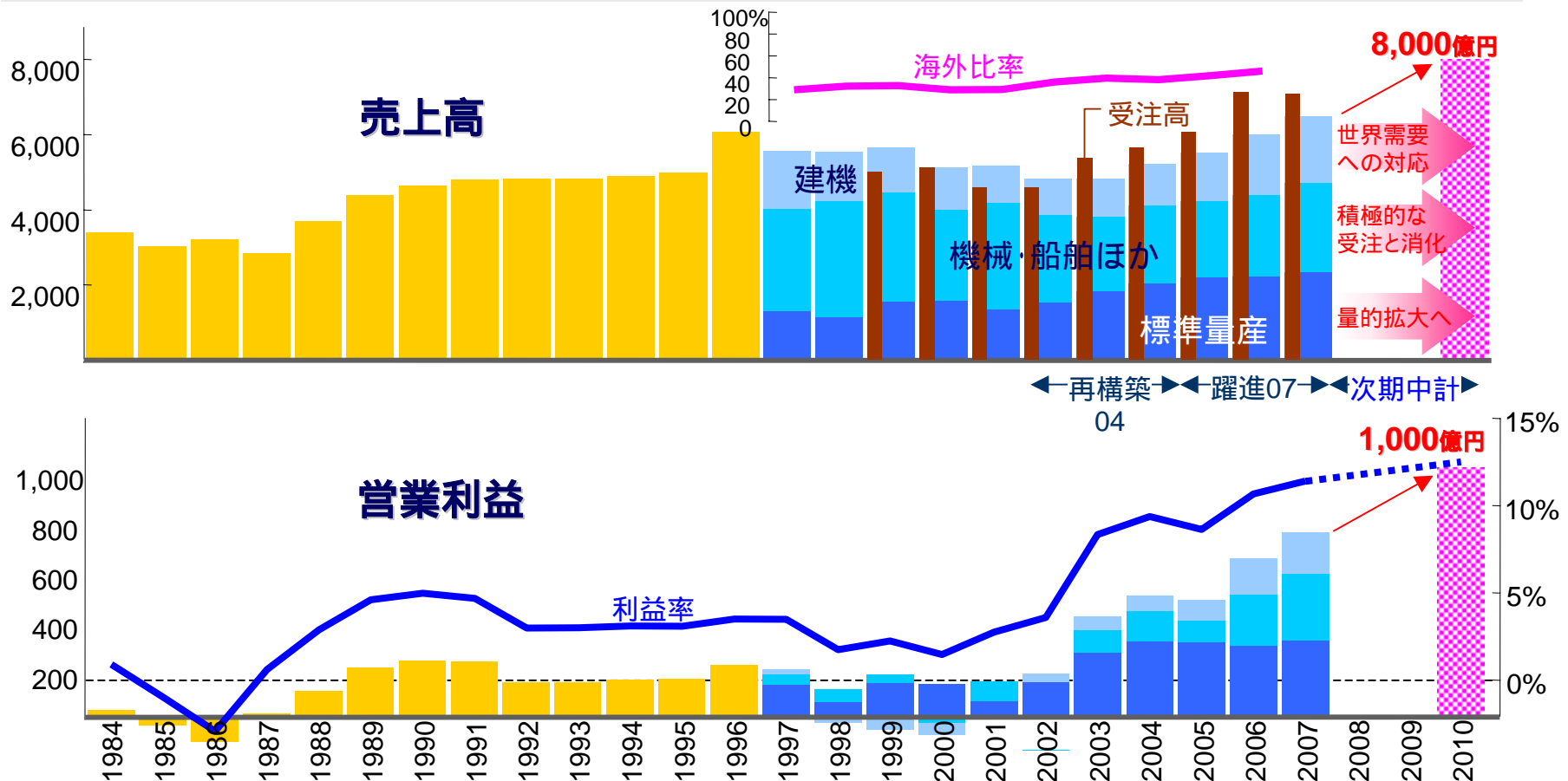
大きく改善された収益力を投資に活かし成長を目指す

「世界の住友重機械」へ

- グローバルマーケットへの積極的挑戦
- 持続的競争優位の確立
- イノベーションの推進

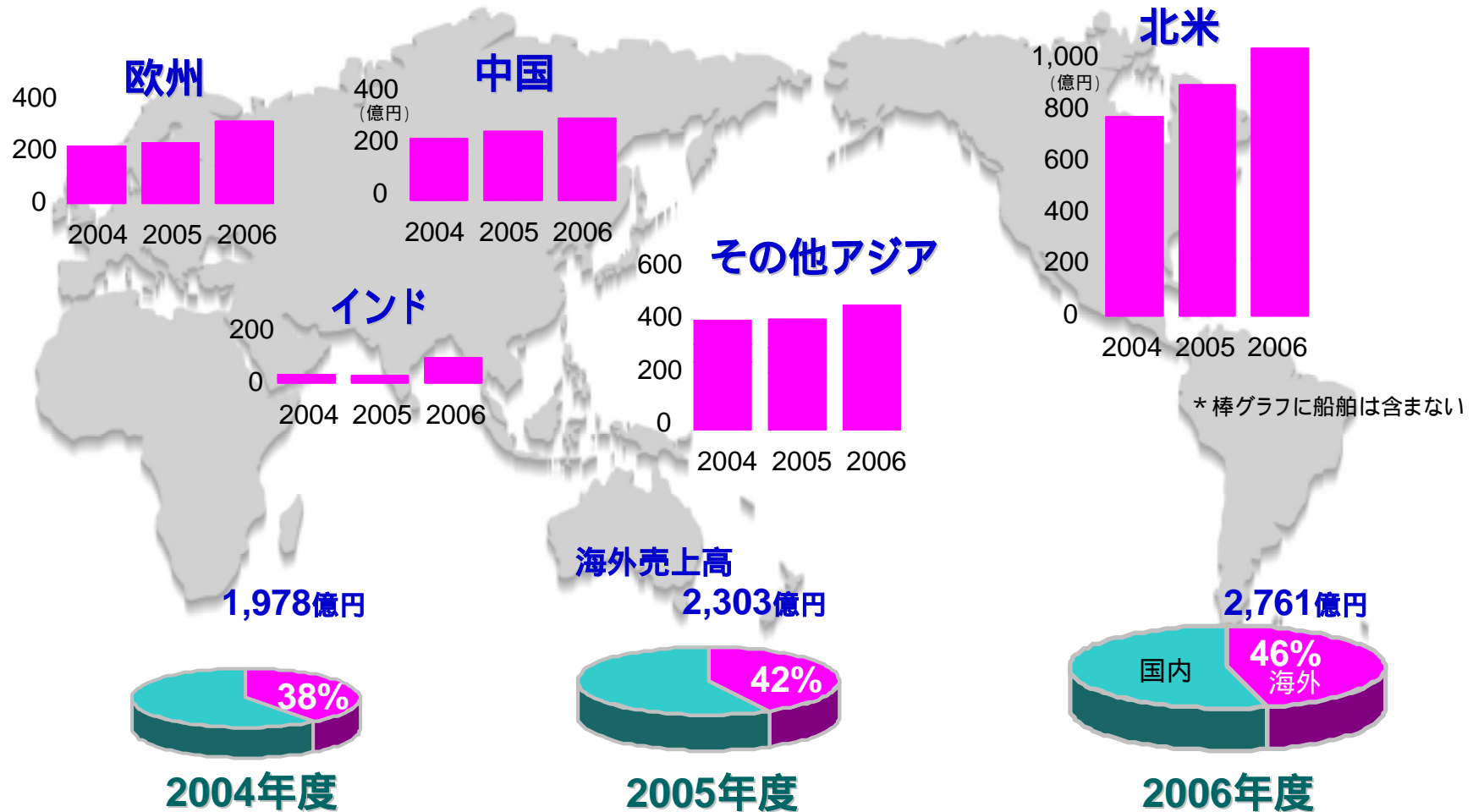
数値目標 (2010年度)

売上高 8,000億円  
営業利益 1,000億円



# 海外売上

北米を中心に売上伸長、07以降、中国をはじめBRICsに注力  
 ~ グローバル成長を求めて積極的展開へ



# 海外拠点戦略

## SHI-Gのネットワークを活かした

## 設計・製造・販売・サービス体制の構築へ

- 設計拠点
- 製造拠点
- 主な販売・サービス拠点

